

せい ろう まち

せ 聖籠町 議会だより

VOL.136

9月議会

令和3年
10月29日発行

新潟県聖籠町議会



天高く
元気いっぱい 子どもたち



【決算審査】コロナ禍の町のすがた (P.2)

子ども見守り隊の声 (P.10)

ズバリ直言! 町政を問う (P.12)

町民との意見交換会 開催決定! (P.19)

町のすがた

令和2年度 コロナ禍の

一般会計決算

歳入 94億8206万円 (前年度対比 28.9% 増)
歳出 89億6050万円 (前年度対比 33.6% 増)

歳入は、法人町民税や固定資産税で減少しましたが新型コロナウイルス関連で国庫補助金が18億7748万円の増加になりました。また、ふるさと納税などの寄付金が7988万円増加しました。歳出は、国施策の特別定額給付金の給付事業や町単独の支援など新型コロナウイルス対策に要した経費の総額が国庫事業を含めて約19億円になりました。



ここがポイントだよ

◆ 保健福祉

高齢者等のごみ出し支援や、障がい者手帳の対象にならない難聴者の補聴器購入を助成する事業など新規の事業に取り組みました。

◆ 教 育

国が進める GIGA スクール構想の実現に向けて教育活動支援員を配置しました。また、県内自治体に先駆けて全児童生徒にタブレット端末を配備しました。

令和2年度 一般会計・特別会計 決算

会 計 名		歳 入	歳 出	採 決 結 果	
一 般 会 計		94億8206万円	89億6050万円	可決:全員賛成	
特 別 会 計	国民健康 保険	事業勘定	12億9145万円	12億4919万円	可決:全員賛成
		施設勘定	1億909万円	9928万円	可決:全員賛成
	介護保険		12億9905万円	12億5267万円	可決:全員賛成
	後期高齢者医療		9950万円	9872万円	可決:全員賛成
	県営開拓パイロット事業		1472万円	905万円	可決:全員賛成
	下水道事業	収益的収支	7億2578万円	7億698万円	可決:全員賛成
		資本的収支	1億7665万円	4億4170万円	可決:全員賛成
	水道事業	収益的収支	2億9617万円	2億8636万円	可決:全員賛成
		資本的収支	0円	3929万円	可決:全員賛成
	合 計		134億9447万円	131億4374万円	
前年度対比		18.3%	20.6%		

令和2年度の主な歳入

固定資産税	32億 133万円
特別定額給付金	14億 2430万円
町民税(個人・法人)	8億 9744万円
子どものための教育・保育(国)	2億 1184万円
子どものための教育・保育(県)	8041万円
町債	1億 5030万円
ふるさと応援寄付金	1億 1409万円

令和2年度の主な歳出事業

小学校トイレ改修工事	1億 5666万円
デジタル移動系防災行政無線整備	7588万円
除雪作業委託料	7086万円
小学校無線 LAN 増設工事	3498万円
聖籠町応援キャンペーン事業	2341万円
子育て世帯への臨時特別給付金	2190万円
ざぶ〜ん館指定管理委託料	1500万円

除 雪



7086万円

ハッピーチケット



2341万円

監査委員の意見

より精度の高い予算見積り、執行を求める

【総括的意見】 令和2年度の一般会計並びに特別会計決算の審査は、予算が第4次聖籠町総合計画に示された趣旨に沿って執行されたかどうかという視点に立ち実施した。政策評価シートで評価した事務事業151件のうち、16件が15満点中10点未満の評価であり、これらの事業については早急に見直しまたは廃止の検討を望む。しかし総体的には係数的にも誤りはなく特筆すべき違法性や不適当な点は見受けられなかった。



にのみや ひでお
二宮 秀男
代表監査委員

【一般会計】 歳入は前年度対比21億2736万円増(28.9%増)となったが、これは新型コロナウイルス感染拡大防止関連事業の増加によるもので、通常時との比較はできない。歳出の増加も同じ要因である。

町税、特に固定資産税の減収が今後も続くことが想定される。今後はより精度の高い予算見積り管理、執行が求められる。また財政調整基金(町の積立金)は4279万円の積み増しにより5億1781万円となった。今後は純繰越金の2分の1を積み立てることが望ましい。



たなか ともゆき
田中 智之
監査委員

令和2年度 決算

徹底検証

～使われ方をチェック～

決算審査特別委員会

決算審査特別委員会は、前年度に執行された一般会計、特別会計の7事業が適正なものであったかを慎重に審査しました。事業は計画通りに実施され、成果を上げていくか等の実績を確認するため担当課から詳細な説明を受け、委員会では細かく質疑を行いました。委員会における意見書の中から一部を紹介します。



農業支援

どう守る基幹産業

コロナ禍で農業者も打撃を受けている。国や県に対してさらなる農業支援策を早急に要望すべきだ。



後継者が育つ農業を



空き店舗

有効利用を

地場物産館隣は、空き店舗の状態が続いている。その場所を賃貸にし、家賃収入を得るなどして町の負担を減らすべきだ。



空間を無駄にしない



ふるさと納税

図れ利益率向上

寄付額が順調に伸びたのは、担当課の努力も大きい。取扱量の増加に伴う課題や生産者直送などを検討し、利益率の向上を図るべき。



おいしい特産品



防犯カメラ

守れ子どもの安全

令和4年度までに、通学路防犯カメラを27カ所に設置予定だが、その他の危険箇所を把握し、増設の検討を望む。



犯罪抑止となれ



東山団地

目指せ空き部屋ゼロ

家賃の見直しなどを行うことにより、上層階の入居者増加と、空き部屋の解消に努めるべきだ。



空いてますよ 広いお部屋



聖籠海岸

安心して遊べる海へ

毎年利用者が増加している海岸を、年中安全に利用できるよう、離岸流対策をとってほしい。



海は気持ちがいいね



国民健康保険

用途広がるマイナンバーカード

令和3年10月から保険証として利用できるが、まだ使える医療機関は少ない。国に対し、利用できる施設を増やすよう働きかけてほしい。



持っていますか マイナカード



防火井戸

不要な井戸撤去せよ

使用できない防火井戸は、安全を考慮するうえでも早急に撤去すべきだ。



消火栓にバトシタッチ



タブレット端末

計画的な入れ替えを

端末の寿命は5年程度と言われている。端末の入れ替え、また更新は計画的に行ってほしい。



教育活動の必需品



下水道・水道事業

新たな制度で接続率向上

聖籠町暮らし応援事業と連携を図り、接続率の向上につなげてほしい。



清潔な水環境を

当初予算からの追加 こんな質疑がありました

補正 予算

令和3年度一般会計補正予算は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億6904万円を追加し、総額84億3536万円です。また、令和3年度新潟県営開拓パイロット事業聖籠町特別会計補正予算は、既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ267万円を追加し、総額1260万円です。それぞれ全員賛成で可決しました。

ふるさと納税 寄付額アップへ



ポータルサイトに 605万円追加

Q なぜ公表しない10代の接種率
使用中がかかる。

A 把握する必要はない
保健福祉課長 年代別接種率は把握していない。理由は、本町ではいかに接種者を増やすかというところに重点を置き、接種済み者と予約者の合わせた数字を追っているからだ。今後も接種できる方全員の接種を目指しているため、接種率の把握は考えていない。

Q 委託料はどの期間のものか
宮沢光子議員 ふるさと納税ポータルサイトが増え、委託料が計上されている。どの期間の委託料か。

A 11月以降の分である
総合政策課長 新たなサイトの11月以降の委託料である。

Q 使用料の積算根拠は
宮沢光子議員 ふるさと納税ポータルサイト使用料の積算根拠は。

A 寄付額の増加分から算出
総合政策課長 11月以降の寄付増加分6千万円に対する使用料。寄付額に対しそれぞれ、ふるさとチヨイスは5%、楽天は9%、ふるなびは10%の

Q コロナ禍に開催するのか
宮沢光子議員 自衛隊音楽隊の演奏会について、コロナ禍での開催をどう捉えているのか。

A 状況を早くに判断する
総務課長 町民のため、開催したいと考えている。
・自衛隊との協議で9月末頃までに判断を行う。
・開催する場合、10月初めに町民に広報したい。
・中学生との交流はなし。
・文化会館の定員数を考えて、整理券の配布枚数は今後検討する。

がするべきものではないのか。今後この園内路は法人所有になるが、冬季間の除雪などはどうなるのか。

A 本来は法人が行う予定だった
子ども教育課長 用地買収の事務手続きに時間がかかり、買収後すぐに整備を行う必要があった。そのため町で工事発注し、その後法人が費用負担をすることになった。また、

Q いつ開催するのか
中村恵美子議員 プログラミング教室の日程が変更となったが、いつ行うのか。

A 7月と12月の計2回
子ども教育課長 7月に親子での開催予定だった

Q なぜ民有地に移設するのか
中村恵美子議員 亀塚の消火栓移設はあかね公園脇の町有地に予定していたが、なぜ民有地への移設に変更したのか。また、最初の場所からどれくらい移動したのか。問題はないのか。

A 水道配管の径が足りなかったため
生活環境課長 移設予定場所の水道管は配管の末端で径が50ミリメートルだった。消水利に適さないため、太い管のある場所に変更した。最初の場所から65メートルのところに移設したが消防法上問題ない。

A 全管の敷設替えには対応できない
産業観光課長 今後、全管の敷設替えをすると莫大な費用がかかり、基金だけでは対応できない。一般会計も視野に入れながらやっていきたい。

Q 園内整備町がするのか
宮沢光子議員 亀代こども園園内路整備工事を町が発注しているが、法人



こども園の園内路整備に 1595万円追加

Q 賦課金だけで大丈夫か
手嶋満議員 賦課金で基金を積み立て、老朽化し

A 水道配管の径が足りなかったため
生活環境課長 移設予定場所の水道管は配管の末端で径が50ミリメートルだった。消水利に適さないため、太い管のある場所に変更した。最初の場所から65メートルのところに移設したが消防法上問題ない。

9月議会 定例会

9月定例会は9月7日から21日まで15日間の会期で開かれました。一般質問には7人が登壇。こども園の民営化、新型コロナウイルスの状況、防災・防犯対策、東港の活性化などについて町の考えをたどりました。また条例の改正、補正予算などを審議し、原案のとおり可決しました。
令和2年度一般会計・特別会計の歳入歳出決算については、決算審査特別委員会を設置し集中審査しました。(関連記事2～5ページ)

条例改正 個人情報保護条例の一部改正

内容 特定個人情報の提供の規定に、追加がなされたため改正

主な質疑 質疑 答弁



早期に退職した役場職員がいるが、個人情報保護に関しては研修を受けているはずだ。退職後も自分が職務上知り得た情報については口外しない、できないと理解してよいか。

職員は採用後すぐに公務員の規律や守秘義務についての研修を受ける。また採用時に誓約書も交わしている。口外はしないと考えている。



財産の処分 旧医師住宅の売払い

内容 旧医師住宅の売払い価格が700万円以上になるため議会議決が必要

主な質疑 質疑 答弁



当初、1500万円くらいで売却ということだったが、建物の売却価格は737万円だ。土地については、議会の承認は必要ないのか。

土地については不動産の鑑定は740万円だった。しかし土地の場合の議決対象は5千平方メートル以上であり、今回は建物のみが議決案件となる。



行政報告



コロナ禍

8月、児童クラブで施設職員と児童数人の新型コロナウイルス感染が確認され、利用の自粛をお願いしました。

町施設利用者の感染確認が続いたことなどから、防災無線と広報せいらう号外を通じて細心の注意を払うようお願いしました。

各イベントは中止や延期

敬老会は中止。町民より「敬老会対象の皆さんにお菓子を食べてもらいたい」と寄附の申し出があり、配布予定です。成人式は来年8月に延期しました。

町民と中小業者支援

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中小企業等を支援すると

ともに、町内における消費を喚起するため利用券(ハピチケ)を発行します。

町民1人当たり3千円の券を配布し、子育て世帯には、子ども1人当たり1万円分を加算します。他にざぶくん利用券も、1世帯当たり1800円分配布します。

新たな町立幼稚園名決定

園の名称を公募し、「せいらう幼稚園」と決定しました。

ふるさと納税増

寄付額の実績は、8月末時点で3863件、5580万円で、昨年比で2218件の増、寄付額は3869万円の増となりました。パックご飯が安定的に選ばれることも要因です。

みなさんの声 請願1件を調査

全員賛成で採択

◎「コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備をはかるため、私学助成増額・拡充を求める意見書」の採択を求める請願

「提出者」新潟県私学の公費助成をすすめる会 会長 中村直美

「紹介議員」長谷川六男・宮沢光子

「請願の主旨」コロナ禍の中、学費と教育条件の公私間格差の是正を求め、国・県に意見書の提出をお願いしたい。

「要望事項(一部掲載)」私立高校生への就学支援金制度を拡充すること。私立高校での専任教員増を可能とするため、経常費助成を増額すること。

↓採択を受け、国・県に意見書を提出。

教育委員 稲田健一さん(再任)



任期満了に伴う再任の人事案件に全員賛成で同意しました。稲田さんは約40年にわたり、教育現場の第一線で活躍されていた方です。引き続き教育委員としてご活躍されることを期待します。

特別委員会を 設置

議員定数(現在14人)と議員報酬に関する調査のため、議長を除く全議員を委員とした特別委員会を設置しました。今後、町民の皆さんにも参考人の立場でご意見を伺うこととなります。詳細が決まり次第、町の広報等を通じてお知らせする予定です。

	月額報酬
議長	311,000円
副議長	254,000円
常任委員長	232,000円
議会運営委員長	232,000円
議員	230,000円

現在の議員報酬額

議員表決結果報告

令和3年第5回聖籠町議会臨時会

議員個々の賛否：賛成=○ 反対=× 欠席=欠 ※議長は可否同数時以外、採決に参加できません

提出者	議案等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	採決結果
		高崎美由貴	伊藤千穂	手嶋満	宮沢さやか	小川勝也	青木順	田中智之	高松守雄	宮沢光子	中村恵美子		須貝龍夫	長谷川六男	五十嵐利栄	
町長	令和3年度聖籠町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	可決

令和3年第6回聖籠町議会臨時会

議員個々の賛否：賛成=○ 反対=× 欠席=欠 ※議長は可否同数時以外、採決に参加できません

提出者	議案等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	採決結果
町長	令和3年度聖籠町一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	可決

令和3年第3回聖籠町議会定例会

議員個々の賛否：賛成=○ 反対=× 欠席=欠 ※議長は可否同数時以外、採決に参加できません

提出者	議案等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	採決結果
町長	聖籠町個人情報保護条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	可決
	聖籠町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	可決
	聖籠町教育委員会委員の任命につき同意を求めらるるについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	同意
	令和3年度聖籠町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	可決
	令和3年度聖籠町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	可決
	令和3年度聖籠町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	可決
	令和3年度聖籠町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	可決
	令和3年度聖籠町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	可決
	令和3年度新潟県営開拓パイロット事業聖籠町特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	可決
	令和3年度聖籠町水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	可決
	令和2年度聖籠町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	認定
	令和2年度聖籠町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	認定
	令和2年度聖籠町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	認定
	令和2年度聖籠町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	認定
	令和2年度新潟県営開拓パイロット事業聖籠町特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	認定
	令和2年度聖籠町下水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	認定
	令和2年度聖籠町水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	認定
財産の処分について〔旧医師住宅売払い〕	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	可決	
請願	「コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備をはかるため、私学助成増額・拡充を求める意見書」の採択を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	採択
議員	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	可決
	コロナ禍において私立高校生が学費の心配なく学校で学び続けられるよう、私学助成増額・拡充を求める意見書(国あて)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	可決
	コロナ禍において私立高校生が学費の心配なく学校で学び続けられるよう、私学助成増額・拡充を求める意見書(県あて)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	可決
	議員定数・議員報酬に係る特別委員会設置に関する決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	可決

第5回臨時会
7月7日

一般会計補正予算は、既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1588万円を追加し、総額81億4331万円と定める予算を全員賛成で可決しました。
主なものとしては、
歳入
・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
・指定寄付金
・繰越金
歳出
・町税還付金
・食糧費
・敬老祝菓子製造等業務委託料
・学校情報機器ネット
・ワーク構築等業務委託料です。

第6回臨時会
8月6日

飲食、宿泊、旅客業の応援助成金
Q 50%減は妥当か
中村恵美子議員 売り上げが前年同月比50%減ではなく、県に合わせて30%にできないか。
A 見直し検討する
町長 その要望については、尊重したい。
Q 業種選択に不公平はないか
田中智之議員 昨年度同様の助成金を交付した際、一部の町民からなぜこの業種だけ支援するのかと言った声があった。不公平と考えないか。
A 全ての業種の支援は厳しい
町長 色々な団体の声を聞き、今回は特にこの業種が厳しいと判断した。

子育て・生活応援事業補助金
Q ハピチケの周知徹底を
田中智之議員 ハッピーチケットを全町民に配布することのだが、使える店をどうアナウンスするのか。
A 加盟店の一覧表を作成する
産業観光課長 加盟店の公募を行い、一覧表を作成し、チケット発送時に同封する。

Q 利用率の改善を
青木順議員 ハッピーチケットの利用率が上がるようできないか。
A 商工会と一緒にPRする
町長 前回は業種による利用率に差があった。高められるよう、PRしていく。

山小地区子ども見守り隊の声

Vol.9

すまいる

質問項目

Q1 登下校の見守り活動の中で思うこと、感じたことは？

Q2 町に期待することは？

1 見守り、育てることは大人の責務と思い、活動をしています。

2 のびのびと育てたいけるよう、先生に負担のない人員配置を願います。



いがらし ひさこ
五十嵐 久子さん
(桃山)

1 子どもたちが事故やケガのないよう安心して通学できることです。

2 歩道のない通学道路は危険。早急な対応を望みます。



あかぎ あつこ
赤木 厚子さん
(桃山)

1 元気な学習と遊びを頑張る子どもたちから力をたくさんいただいています。

2 高齢者が安心して楽しく暮らせる町にしてほしいです。



さくま まりこ
佐久間 真利子さん
(蓮湯)

1 班长さんなど高学年が低学年を連れて歩く姿がほほえましいです。

2 時々されていますが通学中に車で呼びかけをしてほしいです。



いからし じゅんこ
五十嵐 順子さん
(蓮湯)

1 子どもたちのあいさつと笑顔で元気をもらい、うれしく思います。

2 ボランティア活動のおもしろさ、楽しさを育ててほしいです。安心して登下校できるように、歩道整備をお願いいたします。



雨の日も風の日もいつもありがとう



かんだ まさこ
神田 正子さん
(蓮湯)

民営化

長谷川六男 議員の
視点



公約にない こども園民営化 なぜ

町長 選挙公報の公約 に表現

問 なぜ公約に掲げていない政策を打ち出した。
町長 当時の選挙公報に、こども園体制を早急に検証し新たな対応を行うとある。

問 民間の職員と公務員が同じ職場で働くとなると、賃金や福利厚生などの待遇面の違いによるモチベーションの低下などが懸念されるがどうか。
教育長 本人の同意を得て行う派遣であり、低下につながる。

教育長 認定こども園では役職の制度はないが、町に戻った場合は前と同様の役職となる。
問 派遣人数は。また、幼稚園教諭から一般職に変更を希望している職員はいるか。
教育長 現段階では確定していない。意向を取りまとめている。



唯一残る公立幼稚園
(現、聖籠町立蓮湯こども園)

問 途中の児童が死傷した痛ましい事故を受けて、文部科学省は通学路を合同点検するよう依頼した。町は実施したか。その結果は。
教育長 通学路の現状を確認している。今後の対応を含め県に報告する。

問 町は通学路の歩道整備計画を進めているが、現在の進捗状況は。前倒しの検討はできないか。
町長 別條集落から蓮野集落までは、今年度で別條集落入口まで完成予定。聖籠中学校から苔沼集落までの通学路、本三賀集落から中の橋集落までの通学路は、早期の整備完了を目指している。

問 全体計画から外れてしまふような前倒しは厳しいものか。
町長 8月末時点で94.7%の方が接種済み、ま

問 たは予約済み。
問 接種の効果を理解してもらえない丁寧な説明を行っているか。
町長 町の広報やホームページで周知をしている。
問 接種後、重い副反応が出た人はいいたか。
町長 8月末時点では報告はない。
問 ワクチン不足が生じた。なぜ不足になることを予測できなかったのか。また、接種希望者に影響は出たか。
町長 ワクチンの配分量の変化を町が予測することは無理だ。今のところワクチン接種に影響は出ていない。
問 児童クラブで感染者が出た後、なぜ閉鎖しなかったのか。
教育長 施設の消毒作業状況が良好であることなどから、臨時閉所まで至らないと考えた。厚生労働省の方針に基づき、利用自粛要請が適当と判断した。

安全

小川勝也 議員の
視点



安全な通学路 早急に確保せよ

町長 県道2力所に 信号設置

問 今年度、通学路に新たな事故防止対策の予定はあるか。
町長 県道2力所に押しボタン式信号を設置予定。場所は、網代浜新発田線の新発田ガス営業所脇と新潟新発田村上線の真野地内である。

問 今後、中学校冬季通学バスの運行に変更は。教育長 運行内容は大きく変更しない。事業を持続可能なものにするため、保護者の協力を得ながら必要な改善策を講じる。
問 来年度新たな子育てシステムに変更され、幼稚園での通園バスは運行しなくなる。朝夕の個々の送迎で、道路の通行に支障は出ないか。
教育長 今後は保護者送迎になるため、周辺道路の交通渋滞を発生させない配慮が全ての園でされている。

各公共施設の改修整備予定は
問 中学校の中庭デッキ



手押し信号で安全確保

問 3年前に町民会館の改修工事をどのように進めるか。町が調査業務を行った。その後、舞台のつり物改修工事以降、工事は進んでいない。その

問 町の改修工事は進めないのか。
町長 今年度はトイレ便座15力所に温水洗浄便座の設置と、小ホールの音響設備入替工事を実施した。今後とも予算と緊急度を考慮し、計画的に進める。
問 各集落公会堂でのエアコン、外壁、屋根等の補修が進められている。一方で、集落によって補修の進んでいないところもある。町として

問 町長の各施策に改善点は。
町長 循環バスのルート変更や新発田駅への乗り入れ等、利用者目線での改善が行われて約1年経った。今後の改善点は。
町長 利用状況の分析結果や、利用者懇談会などを通じて寄せられた意見を基に、見直しの必要性について継続して検討する。
問 来年度、4月から子育てシステムが変更される。現状で予想される懸念はあるか。
教育長 特段懸念されていることはない。町と社会福祉法人とが協力・連携しながら、円滑な新体制への移行に向けて準備したい。

感染対策

宮沢さやか 議員の
視点



町HPでも感染者状況の確認を

町長 担当課で検討する

問 感染症対策を講じつつ、心身の健康のために文化芸術やスポーツ活動を継続することも重要と思う。町主催のイベント開催では、どのような対策を講じているか。

町長 イベント開催の基準を作成し、統一的に開催可否を判断している。

問 定期利用団体やスポーツ少年団等への感染症対策の周知方法は。

教育長 電話や文書を通じてお知らせしている。

問 メールでの連絡方法もある。検討しては。

教育長 検討意義はある。

問 町の公共施設での感染症対策は。

町長 各公共施設に手指消毒用アルコールを、庁舎・町民会館には非接触型の体温計を設置。また定期的な換気や消毒等を実施し対応している。

問 出入り口に配置がない施設もある。今後導入する考えはあるか。

町長 内部で検討したい。

問 町のHP上でも感染者状況が確認できるように



結いハートにも非接触型体温計が設置されました。手のひらでも測定できますよ。

対応できないか。

町長 感染防止対策の注意喚起という点からも必要と思う。担当課で検討させたい。

問 令和2年9月にインフルエンザ予防接種の対象年齢と助成回数について質問した。検討結果は。

町長 任意の予防接種の全助成事業に対し検討中。対象年齢や回数については改正を予定しており、要綱改正も含め準備中である。

.....

生命(いのち)の安全教育

問 小・中学校では、性や命についてのどのような指導をしているのか。

教育長 学習指導要領に基づき全体指導計画を作成し、年齢や発達段階に応じた指導をしている。

問 医師や助産師などの外部講師を招いた研修会実施の考えは。また保護者も一緒に学ぶ機会としてもらいたいと思うが、教育長 外部講師を招いた指導は実施している。各学校で児童・生徒の発達段階に応じて継続的に実施することを基本とし、必要であれば保護者向けの研修会等を学校と協議したい。

問 全ての子どもたちがどのような環境にあって人目を気にせず支援を受けられることは、安心した学校生活を送る上で必要なことだ。管理や衛生面の課題もあるが、本町でも女子トイレに生理用品を配備してはどうか。

教育長 生理用品は小・中学校ともに保健室の目に見えない棚の中に保管している。現状で支障がないものと考えている。

多様性

伊藤千穂 議員の
視点



災害時の盤石な体制づくりを

町長 地域防災計画を見直し中

問 地域の防災に日ごろから女性が携わっていることが、災害発生時に女性の要望や意見が重要視されない傾向がある。町の地域防災計画を策定する際に、女性ほどの程度参加しているか。

町長 地域防災計画の策定や防災に関する意思決定の場として、聖籠町防災会議を組織している。女性メンバーは1人で、構成比3.2%にとどまっている。

問 災害弱者とされる要配慮者には、避難時にどのような対応しているか。

町長 要配慮者をリスト化した災害時要援護者リストを作成し、関係機関に配布することで地域での支援体制の構築に取り組んでいただいている。また、さらなる取り組みが必要と考え、個別避難計画の作成について検討を進めている。

問 避難所の設置は、女性に配慮されているか。

町長 避難者が自由に使

用できる福祉スペースを確保することで、女性をはじめとする避難者のストレスを少しでも軽減できるように配慮したい。

問 町に住む外国人に対して、十分な避難体制が取られているか。

町長 外国人の人口は増加傾向にある。迅速・的確な対応が求められる災害時の避難行動は、共生を目指す上で取り組んでいかなければならない課題。全体として町では遅れている部分だ。

.....

自殺者数ゼロ対策

問 聖籠町のちを支える自殺対策計画によると、自殺死者数の最終数値目標をゼロ人と設定している。そのために、どのような対策をしているか。

町長 狭義の自殺対策だけでなく、生きる支援に



関係部署・機関と連携した取り組みを行っている。

問 生活貧困問題や孤立化などが要因の女性の自殺についてどう考えるか。

町長 生きづらさを抱えている方へ、早期介入等の確かな支援が必要。町で行っている事業を、今後継続・拡充していく。

問 夏休みなど、長期の休み明けに多い子どもの自殺を防ぐための取り組みは。

教育長 日ごろから児童・生徒の観察や定期的な面談、生活アンケート

等により悩みを抱えている児童・生徒や、自殺リスクが高い児童・生徒の早期発見に努めている。また、国や県の通知を基に命を守る取り組みを日常的に行い、自殺防止に努めている。

コロナ

中村恵美子 議員の
視点



感染者 入院・治療できているか

町長 町では 把握していない

町長 県の保健所が行っている業務のため、町では把握していない。町民の方で、本来は入院が必要な症状にもかかわらず、やむを得ず自宅待機をお願いするなど、入院調整ができなかったという報告は受けていない。

問 政府に対し、入院が必要な患者以外は自宅療養を基本とする方針を撤回するよう要求すべきではないか。

町長 誰もが症状に応じて必要な医療を受けられるようにするための緊急的な対応と認識している。しかし、本町においても軽症であることから自宅



療養を余儀なくされ、その結果、家庭内感染が広がっているという報告も聞いている。県に対しては、引き続き宿泊療養施設の確保に努めるよう要望している。

問 一にいがた安心なお店応援プロジェクトの認証を受けている飲食店は、1日申請受付会に参加し、認証を受けている。近隣の会場が新発田市だったためか、本町からは1店舗しか認証されていないように思われる。

町長 直接町からのオフアワーはしていない。町では、県から周知への協力依頼があった際にホームページで周知を行った。

問 新型コロナウイルスワクチン2回接種後においても、町として引き続きマスク着用や飲食の際の注意点などを周知して、町内の感染者拡大とならないようにすべきでないか。

町長 以前から広報や町が行う事業などで3密回避、マスクの着用、手指消毒など感染対策の徹底をお願いしている。

新型コロナウイルス 特別減免周知を

問 国民健康保険税の新型コロナウイルス特例減免制度の周知を、加入者に行うべきではないか。

町長 7月の国民健康保険税の納税通知書送付時に、減免制度のチラシを同封した。町ホームページや広報せいろう7月号にも掲載している。

青木 順 議員の
視点



東港に期待感高まる

町長 新たな方向に 向かうと考える

問 バイオマス発電所がサンライズゴルフ場の一部に建設されるが、どの程度利用し、残りの土地はどうする予定か。

町長 約40ヘクタール使用し、約100ヘクタール残る。残地利用については、慎重に将来のことを踏まえ考えたと聞いている。

問 東港工業地帯で未利用地はどれくらいあるか。

町長 現在、11・4ヘクタールあり、バイオマス発電所が4・7ヘクタールを活用する。

問 新たに東港工業用地を拡大整備する考えはあるか。

町長 さらに発展させるという意味では、事業用地の拡張は進める必要がある。

問 平成24年に、県が現在藤寄駅で止まっている鉄道を東港まで延長することを決定していた。その後の進捗状況は。

町長 県は鉄道貨物輸送に適した輸出入貨物の掘り起こしに取り組み、国

土交通省、JR貨物など関係機関と勉強会を行っているとのことだ。今後具体化に向け進むと考えている。

問 町長自身が東港の活性化について考えているビジョンはあるか。また、それに伴ったアクションは起こしているか。

町長 東港に立地する企業に新たな設備投資を促進することが重要と考えている。また工業用地の拡張も重要であり、引き続き県に要望していく。

問 聖籠海岸の整備も必要である。総合計画には、海洋レジャー・スポーツの振興とあるが、どのように進めていくつもりか。

町長 今も聖籠海岸を会場にセーリングやサーフィンの大会が開催されている。今年度は、町主催の全国的なサーフィン大会を開催する予定だったが、新型コロナウイルスの影響で中止となった。来年はぜひこの大会を開催したい。

町観光大使 任命せよ

問 多くの自治体で、芸能人やさまざまな有名人が生まれ育った地域の活性化を目的に観光大使などに任命され、ふるさとアピールに尽力している。聖籠町のPR、また地元ふるさと納税のPRにもつながると思うが、今後町にも任命する考えはあるか。

町長 町のふるさと納税のPRや観光振興は重要課題の一つである。仮に町の制度として実施していくのであれば、町を応援したい方々と町とが双方に負担感なく実施できる方法を、検討していく必要がある。

将来性

の後の進捗状況は。

町長 県は鉄道貨物輸送に適した輸出入貨物の掘り起こしに取り組み、国



東港の活性化は町の活性化

説明責

田中智之 議員の
視点



蓮野こども園工事 地域への説明を

町長 コロナ禍であり無理がある

問 蓮野こども園敷地内の工事について、町民からさまざまな声を聞く。壊されたプールを見てショックを受けた卒業生園を囲む松が伐採され「あれは蓮野の御宮様の防風林なのに」と憤る高齢者。「誰が勝手に民間委託なんて決めた」と怒る親子。



説明なしに伐採された蓮野御宮様のための防風林

建物を作るということはその地域の風景・歴史を変え思い出を上塗りする。こども園のシステム移行の内容等を、利害関係者だけではなく地域住民に丁寧に説明し納得していただく、そのような配慮が必要ではないか。

町長 新型コロナウイルス感染症が拡大状況中、不特定多数を集めての説明会には無理がある。保護者には園日よりやメール配信、地域住民には広報やHPを通じて随時情報発信している。

問 「徹底的に情報を公開し、町民の意見を聞き、新しいまちづくりを進める」が町長の公約だ。しかし住民からは「コロナで仕事がない中、やっと生活している。なぜこども園に何億もかけるのか」、「町有地だから何してもいいってワケじゃない。説明もしねで」という声も聞く。説明会を開かないなら町長自ら自分の足で、こういう声を求めて回ったらどうか。

町長 極論を言えば、私が一軒一軒回って意見を聞いて歩くのかということになる。それはコロナ禍においていかなのかと、逆に私はそう考える。文面とはいえ説明をし、意見があれば問い合わせをと、お願いしている。

町長 兵器を用いて自己主張を通すのではなく、日々の生活の中で他人への誹謗中傷行為を排除する意識を高め行動できる能力を養うこと。つまり多様性を認め合う態度の育成が平和教育の基盤。

戦争の記憶を風化させないために
問 昨年、50年以上行われてきた町の戦没者慰霊祭が終わった。遺族会の解散という事情はあるが、400以上の御霊が眠っているのを忘れてはなら

教育環境等における課題を調査

総務文教常任委員会

7月27日、担当課より教育環境等における課題について詳細な説明を受けました。

▼認定こども園の工事状況：7、8月中に各園で入札を行い、その後着工予定。

▼園バス：まだ使用できないバスは社会教育課等へ、その他は廃車とする予定。バス停は、来年3月まで使用し、その後の利用・廃止については集落での利用も考えられるため区長に声掛けをする。

▼聖中中庭デッキ：学校からの補修要望もあり、前向きに要望を取り入れる。

▼亀代小学校窓枠サッシの改修工事：工期は6月29日～9月26日の予定。なお、9月中での学校利用を配慮する。

今回は調査事項が多岐にわたり、活発な意見交換の場となりました。そ



中でも、特に新たな子育てシステムである私立認定こども園に関して意見が多く挙がりました。4月からスタートする私立認定こども園と町とが連携し、より良い子育て環境が構築できるよう注視していきたいと思えます。

(文責 小川 勝也)

見出し読者を意識

広報広聴常任委員会

9月30日に開催された広報研修会。今年度は本町議会だよりのクリニックがあり、研修前から皆さんを積む良い機会になると、期待感を抱いていました。

「議会報、住民と議会をつなぐ懸け橋に」をテーマとした講演、クリニックでは、見出しの重要性を改めて学ぶことができました。また、講師による見出し案は、わかりやすく目を引くものでした。

ポイントとは、①記事の中からの確な見出しを考え、言葉を置き換えること。②簡潔かつ具体的に表現することの2点。心掛けるべきことは、見出し語句の重複を避け、情報量を多くし、常に見出し読者を意識することです。

(文責 宮沢さやか)

見て聞いて話し合った

委員会レポート

町民との意見交換会 開催決定

議会運営委員会



令和4年2月中に町民との意見交換会を開くことを決定しました。日程が決まり次第、議会だより、広報せいろう等でお知らせします。多くの皆さまの参加をお待ちしております。

ようこそ 聖籠へ!

～ Welcome to Seiro ～

「ようこそ聖籠へ!」では、他市町村出身で、
現在聖籠町にお住まいのご家族にインタビューをします。



よしだ みほ
吉田 美穂さん
(真野)



夢は家族で海外旅行

今回は真野集落の吉田さんご家族です。

Q家族構成を教えてください。

私たち夫婦と、長女・長男・次男・次女の6人家族です。

Q出身地と聖籠町在住年数は?

夫は地元聖籠町真野です。私は胎内市出身で、聖籠町に住んで15年になりました。

Q聖籠町の良いところ(好きなところ)を教えてください。

おいしい農産物(米・野菜・果物)があるところです。子育てにとっても良い町で、人の優しさや温かさが感じられる町です。



す。自然豊かで鳥の鳴き声が聞こえる静かな町で、とても好きです。

Qどんな町になつてもらいたいですか?

子どもたちの遊ぶ場所、高齢者施設をもっと増やしてほしいです。町の皆さんが利用しやすい、また住みやすい環境づくりを目指してほしいです。

Qどんな子どもに育ってほしいですか?

思いやりを持てる優しい子どもに育ってほしいです。
吉田さんご家族の夢を教えてください。
家族で海外旅行へ行きたいです。

お知らせ

～ information ～

議会トップページは
こちらから



次回の定例会は、**12月7日(火)**開催予定です。

- ①FM 放送
エフエムしばた 76.9MHz
- ②インターネットサイマルラジオ
右のQRコードから聴くことができます。



★表紙の写真★

「天高く 元気いっぱい 子どもたち」

今年で最後の3こども園の運動会と、秋恒例の稲刈り作業です。

発行責任者

議長 五十嵐利栄

広報広聴常任委員会

委員長 宮沢さやか
副委員長 伊藤 千穂
委員 中村恵美子
田中 智之
青木 順
高崎美由貴

広報広聴常任委員会
委員 中村恵美子

新型コロナウイルス感染症が発生し、収束までは3年から5年はかかると言われています。外に出るときのマスク着用生活は、当分の間続きそうです。

9月議会は、令和2年度の決算審査特別委員会が開かれ、活発な議論が交わされました。議会最終日には、決算審査特別委員会委員長の報告があり、全員賛成で認定しました。

9月30日には、町村会の議会広報の研修会が開かれました。詳しくは、広報委員長の委員レポートを見ていただきたいと思いをします。

広報委員会では、いろいろな面から試行錯誤しながら、少しずつ紙面を変えて編集を重ねてきました。

この研修会を受けて、研さんを重ねて、より町民に読みやすいことができるようこの委員会メンバーで、残り2年間編集に望んでいきたいと思いをします。

編集後記

発行 新潟県聖籠町議会
編集 広報広聴常任委員会

〒957-0192 新潟県北蒲原郡聖籠町大字諏訪山1635-4 TEL (0254) 27-1967 FAX (0254) 27-6133

議会だよりは町のホームページでもご覧になれます

[聖籠町議会](#)

[検索](#)

聖籠町議会だよりは、環境にやさしい植物油インキを使用しています。